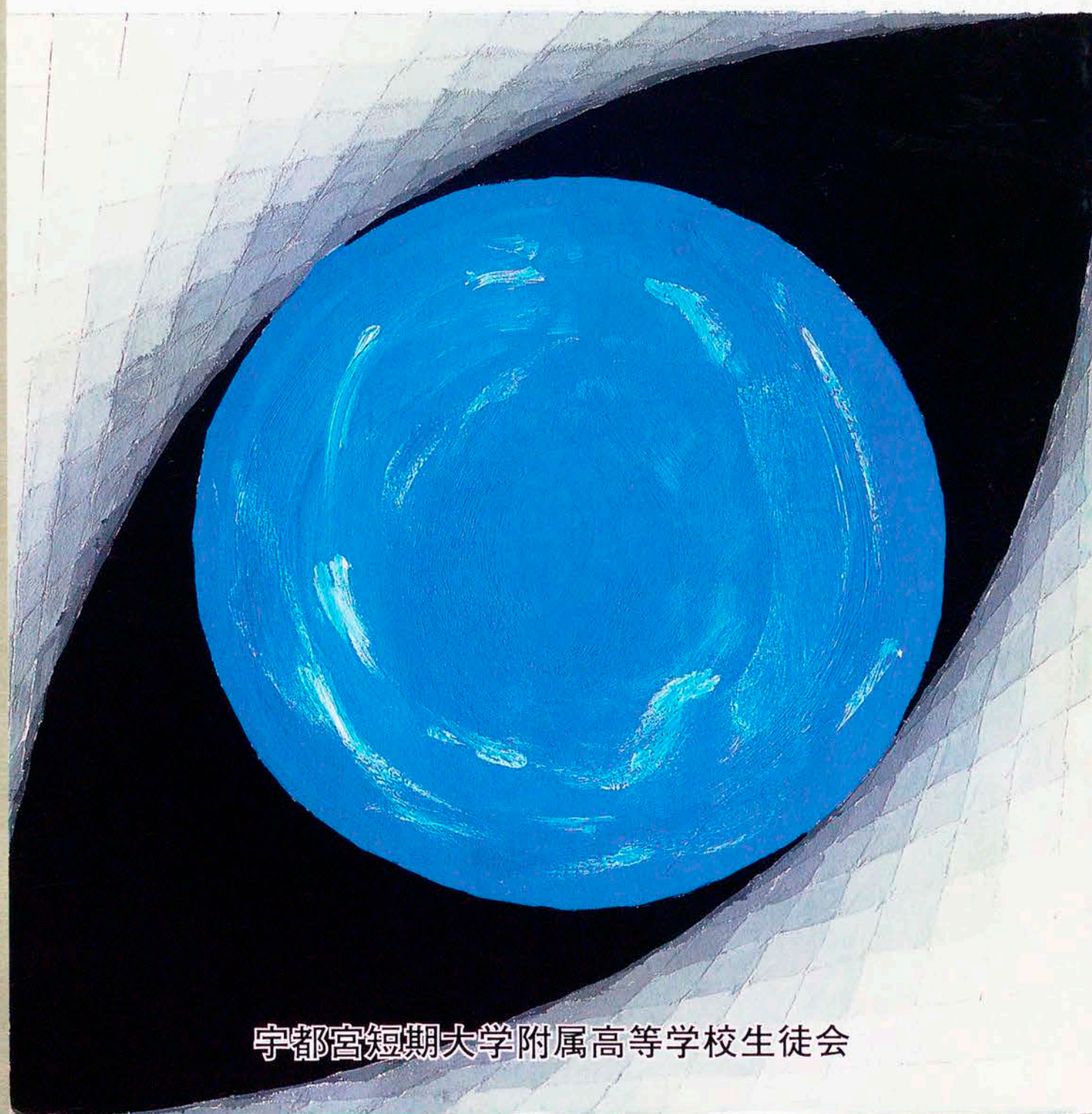


ひめまつ

61



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 目次 (第六十一号)

表紙……鈴木由佳理 題字……石川木魚 写真……写真部・編集委員会
校歌 生活目標

グラフ 「学園の四季」

随想 高校生が見るのは“人”
——オープンキャンパスのアンケートから—— ……校長 須賀 英之 ……1
あつし

論説 共生のこころ ……副校長 須賀 英之 ……4

特集1 全国初の学内コンビニ「ファミリーマート宇短附店」オープン！ ……8

特集2 宇短大グラウンドに、ドーム型多目的アリーナ(体育館 JUC DOME)が完成！ ……9

特集3 男女ソフトテニス部(団体・個人)、県トップレベルの大活躍！ ……11

特集4 インターハイ…剣道女子・個人、弓道男子・個人、水泳女子・高飛込み、ソフトテニス男子・団体・個人で大活躍！ ……12

生徒会活動のさらなる活性化を目指して(新生徒会長に就任して) ……松本 理沙 ……13

感謝を力にして(任期を終えて思うこと) ……河原 愛 ……14

〈声〉 特集・学内コンビニ「ファミマ宇短附店」を利用して ……15

「ファミマ宇短附店」の魅力、

「学校生活の潤い、

「春、夢に向けて、

第一回 イタリア海外研修旅行 ……生活教養科二年 佐藤 萌未

*心に強く響くもの(校内読書感想文コンクール入賞作品) ……19

【第三学年の部】 校長賞

第一位 岡本夏木・著「幼児期—子どもは世界をどうつかむか—」を読んで ……一組 植田 友里

第二位 重松 清・著「エイジ」を読んで ……三組 阿部 ひとみ

第三位 ヘルマン・ヘッセ・著「車輪の下」を読んで ……二組 築嶋 ゆき

【第二学年の部】 校長賞

第一位 重松 清・著「その日のまえに」を読んで ……五組 柴崎 文

第二位 リー・フランク・著「東京タワー、オカンとボクと、時々、オトン」を読んで ……五組 松宮 佳代

第三位 芥川龍之介・著「羅生門」を読んで ……十五組 石井 大輝

【第一学年の部】 校長賞

第一位 鬼丸昌也・小川真吾・著「ぼくは十三歳 職業、兵士。」を読んで ……四組 赤石澤ゆりえ

第二位 サムイル・マルシャーク・著 湯浅芳子・訳「森は生きている」を読んで ……四組 平山 佳翔

第三位 小川洋子・著「博士の愛した数式」を読んで ……一組 山田 知恵

■平成十八年度 作文関係コンクール等入賞者一覧 ……34

□作品集「各種コンクール入賞作品」

- 〔栃木県心の輪を広げる体験作文〕
 - 高校生・一般県民部門優秀賞 「心の扉」 三年 十六組 富川 聖子
 - 高校生・一般県民部門優秀賞 「障害者とのふれあいを通して」 三年 十六組 日比野由貴絵
- 〔ねんりんピックとちぎ2006長寿社会に向けての主張コンクール〕
 - 優秀賞 「長生きの秘訣」 二年二十二組 小瀬沢 梨絵
 - 優秀賞 「言葉」 一年 二組 石田 智久
- 〔詩〕
 - 平成十八年五月二十三日(火)付「下野新聞」(雷鳴抄)から 39
 - 〔短歌撰〕 高校三年八組(普通科進学コース・文系クラス) 40

★あとらんだむ

- 一年間の反省と、二年生になる抱負 旧一年 三組 大谷津孝太郎
- 二年間の反省と、最上級生になる抱負 旧一年十三組 濱名 彩香
- 旧一年十五組 前田 知香
- 旧二年十六組 日比野由貴絵
- 旧二年二十五組 岡田 真実

敬老の日の贈り物に、お礼のお手紙をいただきました。

♪沖繩・東京臨海副都心・那須の旅

- 沖繩は学びの宝庫だった 二年 五組 松宮 佳代
- 平和への祈り 二年 五組 渡辺 藍理
- 「心に残る遠足」 二年 十九組 青木 彩乃
- 一日旅行でのクラスの団結 一年 一組 坂本 礼子

友情が深まった一日旅行

- 「一日旅行で深まったもの」 一年 七組 川中子 朋
- 「りんどう湖ファミリアー牧場にて」 一年 十一組 山崎 美和
- 一日旅行の思い出 一年 十四組 江頭 杏奈
- 一日旅行の思い出 一年 十七組 横山 友里恵
- 一日旅行の思い出 一年 十九組 大草 滉平

招待席

- 「商業教育(ビジネス教育)」について 非常勤講師(商業) 勅使河原隆行
- 「史記」と中国語 非常勤講師(国語) 木村 智恵美

◇わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

◆委員会・部活動報告

- 交通安全・美化・風紀
- 茶道・華道・写真・演劇・囲碁将棋・理科・インターアクト・服飾手芸・女子サッカー・女子バレー・男子ソフトテニス
- 女子ソフトテニス・卓球・水泳・男子バレー・剣道・柔道・新体操・弓道・男子サッカー・男子バスケット・女子バスケット

★学園告知板

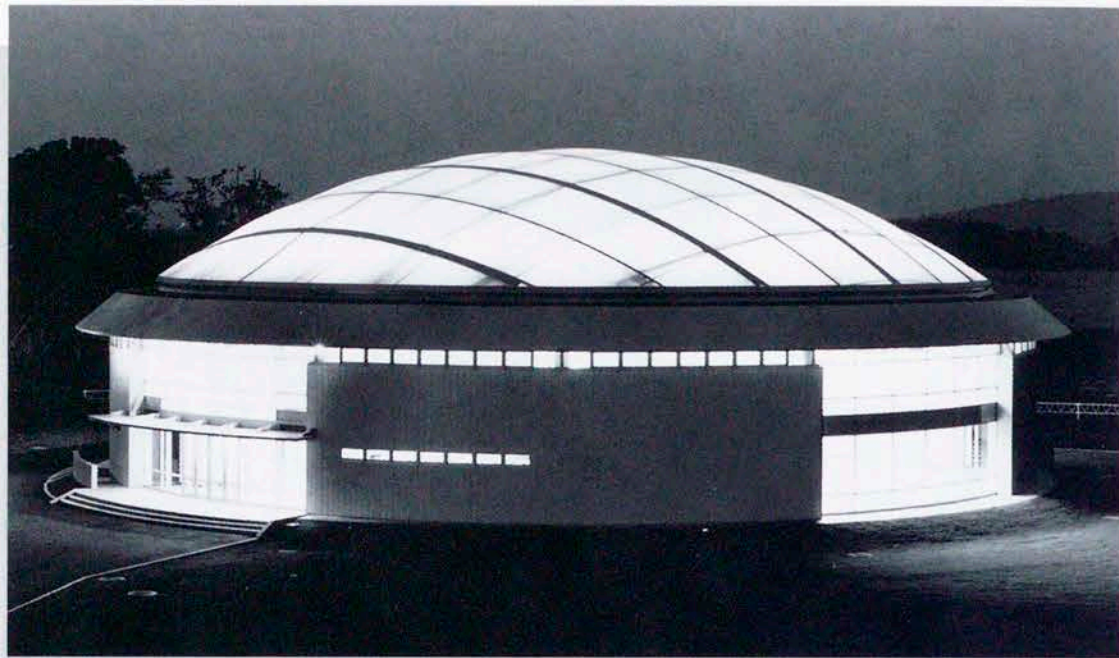
「辰巳琢郎が選ぶお菓子のコンクール」の入賞作品が、東京全日空ホテルで、昨年のGW中に商品化!

生活教養科の一年生が、宇都宮共和大学の那須キャンパスでサマーキャンプ!

本校調理科の卒業生が、カナダ・バンクーバーの「味の外交官」公邸料理人に!

ニュージーランド・マヌカウ市のセント・ケンティンガンカレッジから学生訪問団が来校!

学園の四季



▲4月11日(水)「ファミリーマート 宇短附店」がオープン。
6月2日(金) NHK総合テレビ「おはよう日本」生中継!!



▲9月25日(月) NZマヌカウ市のセント・ケンティンガンカレッジからの高校生をお迎えしてお茶会。<新2号館4F茶室>



▼10月28日(土)「ふるさと栃木フェア2006」で自作の衣裳をご披露する生活教養科の皆さん



▲4月29日(土・みどりの日)「第6回駅東花みずきフェスタ」で生活教養科の皆さんがコスチューム・パレード!



教育実習生、母校の教壇に

宇都宮共和大学宇都宮キャンパスが第十八回栃木県マロニエ建築・景観賞を受賞!
生活教養科三年生が「とちぎフレッシュユメイト」の冬服をデザイン!
「きのこ・山菜料理コンクール」で最優秀賞!
「創作料理発表会」で、生活教養科一年生が優秀賞に!
県の高校書道展で優秀賞を受賞、全国大会へ!
KOB E国際音コンで、音楽科二年生が優秀賞(ガラコン推薦)を受賞!

英語科 日本女子大学
地歴科 三重大学
家庭科 大妻女子大学
商業科 千葉商科大学

松本 奈津子
若林 佑
小出 智美
手塚 彩由美

附属中コーナー

クラス紹介・行事紹介
写真で見る中学校生活

宇都宮共和大学・宇短大(人間福祉学科)コーナー

平成十八年度生徒会報告

◆就職状況
◆編集後記

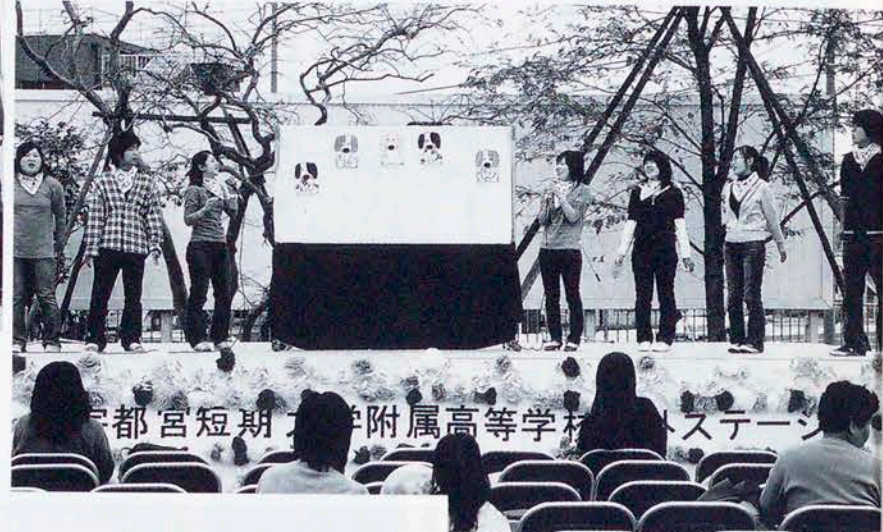
編集委員長

大町 奈保

須賀学園創立106周年記念平成18年度学校祭を開催!



▲中学3年生と保護者対象の「学校見学会」も同時開催
宇都宮短期大学人間福祉学科のパネルシアター
(第2会場:屋外ステージ)



本学園創立106周年を記念した中学・高校合同の学校祭が、創立記念日の11月3日(金・文化の日)と4日(日)の2日間におたり、5,000名をこえる中高生や一般のお客様をお迎えして盛大に行われました。まず、校舎内の第1会場では、各学科・委員会・クラブ、普通科各クラス、系列校の展示と実演。第2会場の教育会館では、セミナー室を一般開放しての公開市民講座(宇都宮共和大・宇短大教員による)・ワークショップや学校見学会、生徒ホールでの調理科レストラン、そして前庭特設ステージでの各種野外コンサートや調理科後援会による餅つき、日産自動車栃木工場協賛の福祉車両:キャラバン・セレナ・キューブ展示。第2グラウンドでは男子サッカー部の招待試合が行われました。また、第3会場となった須賀栄子記念講堂大ホールでは、生活教養科のファッションショーや音楽科のオペレッタ、演劇などと、同小ホールでの校内合唱コンクール上位入賞クラスの発表や英語スピーチ、ミニコンサート。第4会場・総合体育館メインアリーナでの男女バレーボール部と剣道部、卓球部の招待試合、そして中庭プロムナード・第5会場と第1グラウンド・第6会場の屋台村等、見所が盛りだくさんの思い出に残る楽しい2日間になりました。



▲校史「須賀学園106年の歴史」(第1会場)



▲男子サッカー部の招待試合 vs 宇都宮東高校イレブン
(第2会場:第2グラウンド)
宇都宮共和大学公開講座:和田佐英子先生の「子供の安心・安全を守るコミュニティ」
(第2会場:教育会館301)

One for all
All for one
~絆を深めよう~



▲フォークギターコンサートで熱唱!!
(第2会場:屋外ステージ)



▲生活教養科のファッションショー(第3会場:記念講堂大ホール)
▲今年のテーマは「Be a 60's & 70's Princess!」



▲模擬店も大盛況「へーい、っらっしゃい!!」
(第5会場:中庭プロムナード)

▲音楽科オペレッタ「サウンド・オブ・ミュージック」から、感動のARIA「Climb every mountain」
(第3会場:記念講堂大ホール)



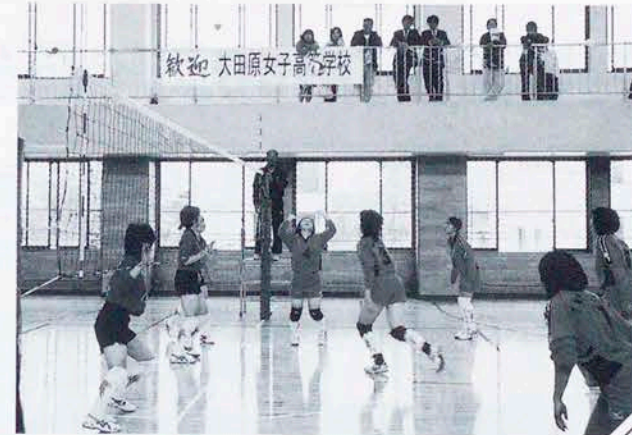
一日体験学習における校長先生の学校説明

高校三年生の皆さんにとって、第三学期は大学入試センター試験をはじめとして、各大学で行われる入学試験の本番です。大学受験に当たっては、事前に各大学のオープンキャンパスなどに参加して、進学したい大学のオープンキャンパスに参加した一都十一県の高校生のアンケート調査の記事が出ていました。それを読んで私はその結果にたいへん興味をもちました。

校長 須賀 淳 あつし

随想

高校生が見るのは”人“
— オープンキャンパスのアンケートから —



▲学校祭：11月4日(土)第4会場のメインアリーナで女子バレーの招待試合(vs大田原女子高校)



平成18年度 生徒総会

議長 副会長 会計

▲5月30日(火)須賀栄子記念講堂大ホールにて平成18年度生徒総会を開催



▲学校祭：11月3日(金)第3会場の記念講堂小ホールで校内合唱コンクール上位入賞クラスの発表



▲6月10日(土)スポーツフェスティバルを実施(写真は第2グラウンド・女子サッカーの決勝戦)

生徒会

行事あれこれ

One for all All for one

～絆を深めよう～

 副会長 杉山 捺加	 副会長 菱木 拓哉	 会長 松本 理沙	生徒会役員	
 庶務 棚橋 知世	 庶務 加藤 義仁	 会計 小貫 涼香		 会計 大貫 兼司
 議長団 古谷 安紀恵	 議長団 杉山 晴香	 議長団 大高 朋子		 議長団 榎木 知美



高校生が進路の最終決定に差しかったこの時期において、大学選定には何が決め手となるのだろうか。高校生が大学のオープンキャンパスで何を見て、何を感じ、そして何によって志望校を決めているのか、その実態がよく分かります。

高校生は、オープンキャンパスで対応した大学の先生、職員、さらにはその大学の学生の様子まで、敏感に察知しているのです。オープンキャンパスに参加して、「この学校に進学したいと感じたとき」で最上位にあがったのが「学生、教員、職員の態度、説明など」の二五%であり、ついで「学科内容・資格取得」が二四%、「施設設備や環境」が二三%となっています。「この学校に進学したいと感じる内容」には、「教員の熱意が感じられた」、「丁寧に扱ってくれた」、「学生たちが楽しそう」などがあげられています。

反対に、「この学校に進学したくないと感じる内容」では、「スタッフが暗い」、「すれ違った学生があいさつをしてくれなかった」、「学生がだらしなかった」などがあります。

そして、オープンキャンパスで期待した内容では、「体験・模擬授業」、「入試説明」、「相談コーナー」など、“人”を介したものが上位になっています。さらに、意外にも“高校生はきれいな好き”で、「学校が広く校内がきれい」、「施設設備が充実している」、「庭がきれいだった」などをあげています。

以上のことは、高校生が大学のオープンキャンパスに参加しての感想ですが、これは中学生が高校の一日体験学習に参加したときも同じではないかと思われれます。

栃木県では、県立、私立のすべての高校が夏休みに一日体験学習を開催しています。本校で行われた一日体験学習には、栃木県内の各中学校はもちろん、関東各県、東京都、そして海外の日本人学校



一日体験学習に来校した中学生（記念講堂大ホール）

からも参加者があり、参加者数は過去最高の四、五〇〇人に上りました。そのため三日間にわたり、午前と午後二回づつ行いました。これも本校に対する中学生の関心の高さを表わしていると思います。

本校の一日体験学習では、まず記念講堂の大ホールで、先生と生徒による各学科の説明や部活動の紹介が行われました。パワーポイントやDVDを活用してのショー形式により、各科の特色ある内容が説明され、さらに運動部・文化部の活躍が披露されました。そのあと、志望学科ごとに分かれ、サテライト授業や模擬授業を体験してもらいました。生活教科や調理科の多彩な実習授業もたいへん人気がありました。

参加した中学生の感想では、「宇短附生が自信をもって堂々と発表したのがすごかった」、「先生が親切でやさしかった」、「特別教室や教育会館の生徒自習室、学生食堂などは、まるで大学みたいだった」、「学内コンビニは便利そう」などが多かったようです。本校の先生方や生徒の皆さんが自信と誇りをもって一日体験学習に活躍してくれたことが大きく評価されたのです。

私は、本校の生徒の皆さんには、「一人は一人を代表する」ということを常にお話ししています。一人ひとりの生徒の皆さんがきちんとした服装、態度で学校生活をおくってくれることが大切です。これからも歴史と伝統に輝く宇短附生として、しっかりと勉学に励んでくれることを願っています。

共生のこころ

副校長 須賀英之



副校長近影

今、森が荒れています。栃木県の面積の五十五パーセントは森林で覆われていますが、そのうち手入れの全く行き届かない森が三万ヘクタールあり、宇都宮市の面積に匹敵しています。これは、林業が外国の安い木材輸入によって成り立たなくなっていることや、林家の後継者難が主な要因です。森林は水と空気の源ですから、このままでは、洪水や水不足が生じたり、将来的には地球温暖化が進み、私たちの生活が脅かされる心配があります。

私は毎年四月のみどりの日に、本校のインターアクトクラブや宇都宮西ロータリークラブの皆さんと一緒に、鉦毒で荒廃した足尾の山の植林ボランティアに参加しています。岩がむき出しになった山肌、まずバケツで土を運び、苗木を一本一本植え、水をやります。しかし、風で倒れたり鹿に食べられたりして、根づくのはそのうち僅かにすぎません。国や県でも大規模に植林を手がけていますが、足尾の山が元の姿に戻るのには百年単位の事業となります。いったん、森を失ってしまうと、それを再生することはとても困難なことです。

アニメ映画にもなった「風を見た少年」の著者C・Wニコルさんは森林の再生運動に熱心に取り組んでいます。先月、講演で宇都宮にお越しになった際、一緒にお話を伺う機会を得ました。ニコルさんは、日本国籍を取得していますので、「南ウエールズ(英国)生まれのケルト系日本人!」とのことでした。若い頃は野生生物の調査に北極探検に行ったり、カナダやエチオピア政府の係官として環境保護を担当しましたが、武士道にあこがれて、一九六二年に日本にやってきました。

さらに一九八〇年、長野県黒姫高原に居を構え、作家活動などで得た私財を投げ打って荒れた里山を買い取り、地元の人と一緒に間伐をしたり水路を作ったりして、失われた生態系を復活させています。そして、よみがえった森に虐待を受けた子供や視覚障害のある子供たちを招待し、たとえ目が見えなくても鳥のさえずる声や若芽の香りから、自然の恵みや四季の移り変わりを体験してもらって

るそうです。

ニコルさんは、前日に沖繩から帰ったばかりで、「古来の空手道が沖繩に残っているから、その修行に行っていた。」とのことでした。「今の空手は単なるスポーツとして勝ち負けの世界になってしまっている。自分より強い人や弱い人と戦っても、結果はわかっているから面白くない。空手でも自分や相手に素直に向き合う心が大切。」ともおっしゃっていました。

昨今、「勝ち組・負け組」、「市場原理主義」、「格差社会」などの評語でくくられる社会風潮が顕著です。しかし、最新の生態学の研究によれば、ダーウィンの適者生存の進化論、すなわち競争に勝った最適な種や個体のみが生き残っていく、という考え方に異論が唱えられています。

自然は多数の共生関係で成り立っていて、生物の生存にはあらゆる環境との相互関係がもつとも重要である、というものです。原生林には多くの動植物が仲良く共存しています。モンゴルの牧草は羊に食べられても再生しますし、狼とウサギの関係のように、食べられても人間の手が加わらない限り、お互い絶滅はしません。また、種が多様な社会ほど安定しています。進化した類人猿は、強いオスがすべてを支配するのではなく、穏やかな協働社会を維持していました。狩猟採集を始めた人類は、他の集団とのよい関係を保ちつつ協力や役割分担をしたからこそ、動物の中で最も進化することができました。悠久の時間の中で、動植物は気候、土壌や周りの生物の状況に応じて自らを変化させ、適材

適所を見出して進化してきたのです。

私は、こうした自然と触れ合い、生態系の仕組みを肌で感じることで、他人を思いやる、やさしい心が育まれると思っています。



C.W.ニコル

誇り高き
日本人でいたい

C.W.ニコルさんの新刊
『誇り高き日本人でいたい』
(2004年12月・(株)アートデイズ)

To Dr. Suka Hideyuki
with very best
regards!
C.W. Nicol
3.2.2007

(財)C.W.ニコル・アフアンの
森財団ホームページ
<http://www.afan.or.jp/>

そして、ニコルさんから生徒の皆さんにむけて、「森作りは未来を信じること。足元の現実に振り回されることなく、大きなサイクルで地球や文化や社会をとらえ、その成長を信じていきたい。森を大切にすることを続け、誇り高い人間であってほしい。」とのメッセージをいただきました。

●副校長略歴

昭和五十二年東京大学を卒業、日本興業銀行(現みずほコーポレート銀行)に勤務。人事部副調査役、産業調査部主任部員、本店営業部・業務部副部長などを歴任し、平成十二年須賀学園に戻る。現在、須賀学園副理事長、宇都宮共和大学学長・宇都宮短期大学学長・同附属中学・高等学校副校長、栃木県私学審議会委員、栃木県産業教育審議会委員、栃木県産業再生委員会地域金融再生部会長などをつとめる。

特集1 全国初の学内コンビニファミリーマート宇短附店「OPEN」!



▲NHK総合テレビ「おはよう日本」の生中継を終えて

高等学校・中学校へのコンビニ出店としては全国初となる「ファミリーマート宇短附店」が、昨年の四月十一日(火)中高キャンパス内にオープンしました。営業時間は、始業前の午前七時四十五分から同八時二十五分までと、昼休みの十二時二十分から午後一時十分

までの一日二回です。このサテライト・コンビニは、中高購買部としての位置づけのほか、高校の就業体験実習の一環として、情報商業科の生徒が毎日インターンシップを行い、仕入れから販売、接客などの業務も学習します。販売品目は、お弁当、おにぎり、パスタ、サラダ、調理パン、各種種類・飲み物、デザート・洋菓子、筆記用具・工作用具、雑貨・衛生用品、制服の小物など、実に計二〇種!セルフサービスで、電子レンジやポット、コピーも使用できます。

また、昨年の六月二日(金)午前七時三十分から、NHK総合テレビ「おはよう日本」の番組枠内で全国生中継されたほか、下野、読売、日本経済、東京、コンビニの各新聞紙上や、TBSラジオ、NHK宇都宮放送局等の各種メディアでも取り上げられた、学内第一の人気スポットです。オープン以来連日超満員の「ファミマ宇短附店」が、楽しく便利なスクールライフをサポートします。



▲連日、超満員の「ファミマ宇短附店」店内

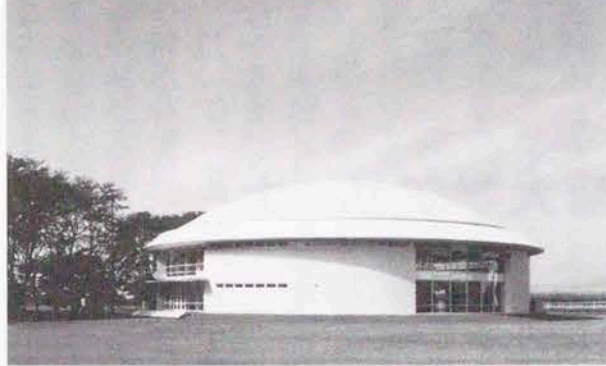
★なお、関連記事が、本誌「声」のコーナーにもありますので、あわせてご覧ください。



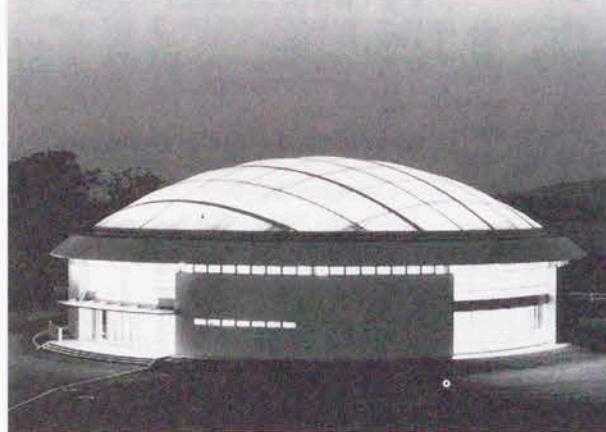
特集2 宇短大グラウンドに、ドーム型多目的アリーナ(体育館)が完成!

宇都宮短期大学の開学四十周年を記念した待望の多目的アリーナ(体育館)が、昨年の十月三十日(月)に完成しました。場所は、宇都宮市長坂の宇都宮短期大学グラウンドの南西端の、

型多目的アリーナです。本格的な全天候型体育館としての用途に加え、音楽やリトミックなどの練習の場として、さらに各種課外活動やイベント(最大七〇〇名収容可能)にも活用できるなど、体育・教育研究・発表の場として最適な室内空間を提供します。また、ホワイトドームのプロポーシオンは、周辺環境との親和性にも配慮したもので、学園の記念建築物としてのシンボル性も兼ね備えていますので、ぜひ一度見学にお立ち寄りください。



3号館エントランスから



3号館屋上からの夜景



体育実技



音楽実技

特集3

男女ソフトテニス部(団体個人)、県トップレベルの大活躍!

昨年の四月八日(土)に行われましたハイスクール・ジャパンカップ2006栃木県代表選考大会におきまして、情報商業科三年荒川達哉君(宇都宮市立陽南中学校出身)と普通科応用文理コース三年高橋由真君(宇都宮市立鬼怒中学校出身)のペアが、みごと優勝! さらに、情報商業科三年・町井健介君(宇都宮市立清原中学校出身)と普通科応用文理コース三年・中村翔君(宇都宮市立陽東中学校出身)のペアが準優勝の栄冠に輝きました。優勝した荒川・高橋のペアは、六月二十二日(木)から北海道で開催された全国大会に、栃木県代表として出場し、県トップ常連校としての実力を発揮することができました。

続いて、十二月二日(土)に宇都宮市の清原体育館で行われた第二十五回栃木県高校選抜ソフトテニス大会兼関東高校選抜大会(インドア大会)県予選会におきまして、男子チームが団体で

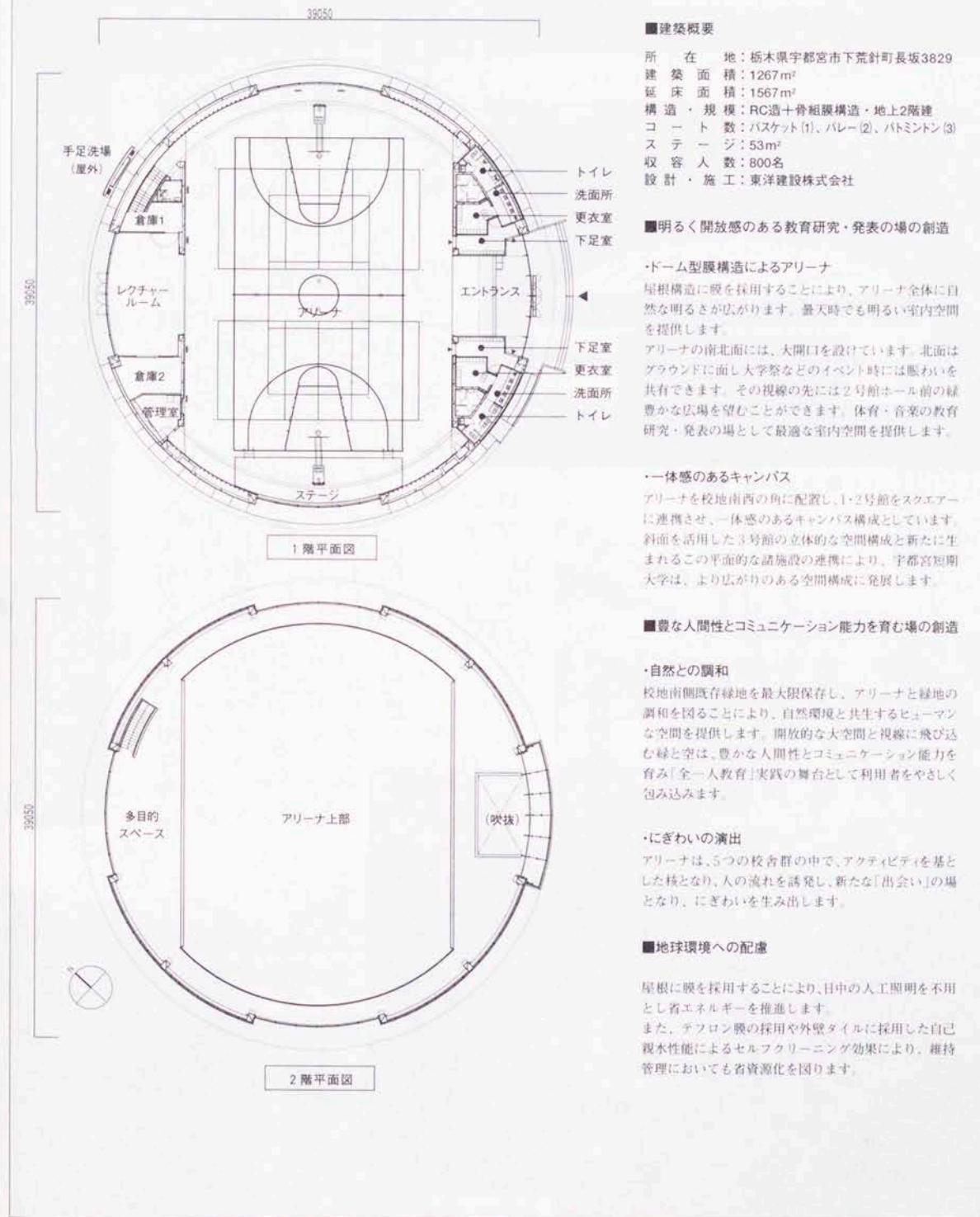


二年連続四度目の優勝! 女子も第二位の栄冠を獲得することができました。女子チームは、新春年明け早々の一月六日(土)から千駄ヶ谷の東京体育館で、また男子チームは、一月十二日



◀華々しい戦績を語るトロフィーの数々!

UJC DOME 宇都宮短期大学アリーナ



特集4

インターハイ：剣道女子・個人、弓道男子・個人、水泳女子・高飛込み、ソフトテニス男子・団体・個人で大活躍！

平成十八年度第五十一回全国高等学校総合体育大会（インターハイ）栃木県代表として、晴れの全国大会へコマを進め、大活躍をした本校各チームの戦績をご報告いたします。

■ 剣道女子・個人



まず、昨年の六月十七日（土）・十八日（日）の二日間、栃木県南体育館で行われた剣道競技（女子個人）では、女子剣道部主将の普通科進学コース三年の渡倉理紗さん（宇都宮市立雀宮中学校出身）が準優勝。八月二日（水）から京都府立体育館で行われた全国大会では、強豪相手に準々決勝まで勝ち進み、最終結果全国BEST8入りの大健闘！

■ 男子弓道・個人

次に、六月十日（土）・十一日（日）の二日間、栃木県体育館弓道場で行われた弓道競技（男子個人）では、普通科応用文理コース三年の石田明広君（壬生町立壬生中学校出身）がみごと第二位に入賞。

■ 水泳女子・高飛込み

また、八月十七日（木）に大阪府立門真スポーツセンター（なみはやドーム）で行われた水泳競技の全国大会では、女子高飛込みで、普通科中高一貫特進コース一年の藤田恵理子さん（宇都宮市立中出身・栃木ダイビングクラブ所属）が、初出場ながらも決勝進出！ファイナリストで、大健闘の第十二位に入賞しました。

■ ソフトテニス男子・団体・個人

そして、六月十七日（土）から十九日（月）にかけて栃木県総合運動公園で行われたソフトテニスでは、本校チーム

が、男子団体でオールストレートの総合優勝！男子個人でも、情報商業科三年の黒崎悠司（芳賀町立芳賀中学校出身・手塚健文（同）ペア）が優勝、四月八日（土）のハイスクール・ジャパンカップ

2006 栃木県代表選考大会において優勝実績を誇る情報商業科三年荒川達哉（宇都宮市立陽南中学校出身・普通科応用文理コース三年高橋由真（宇都宮市立鬼怒中学校出身）のペア）が準優勝、さらに、情報商業科二年の山本悠太（芳賀町立芳賀中学校出身・江間田剛史（同）ペア）と、普通科進学コース二年の野澤翼（宇都宮市立旭中学校出身・柴田亮（下野市立国分寺中学校出身）ペア）がそろって第三位入賞と、上位完全独占の本校チーム！

八月七日（月）から大阪のマリン・テニスパーク北村で行われた全国大会、男子個人では、荒川・高橋のペアが、みごと全国第三位の栄冠を獲得！県トップ常連校としての実力を、十分に発揮することができました。

インターハイに計四種目出場し、いずれも上位入賞の本校運動部の活躍に、これからもどうぞご期待ください。

生徒会活動のさらなる活性化を目指して

新生徒会長に就任して



私はこの度、平成十九年度の生徒会長を任されることになりました。皆様から広いご支持をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。昨年度私は、副会長として役員の

皆さまと共に活動してまいりました。慣れないことばかりで、戸惑うこともありましたが、先生方や役員の皆さまの支えにより乗り越えることができ、私自身大きく成長できたように思われます。また、多くの理解ある方々に恵まれ、明るく楽しく活動することができました。これからも、先輩方が築きあげてこられた伝統を大切に、新しい活動を取り入れ、より良い学校づくりを目指してまいります。

そこで、今年、今まで行ってきた「プリベイドカードの回収」や「国際ボランティア」に加え、「ベルマーク回収」や「盲導犬募金」にも参加していきたいと考えています。世界中には、恵まれない人々や、支援を必要としている人たちがたくさんいます。生徒の皆さま一人一人が思いやりを持ち、一人でも多くの人の手助けができるよう、全校生徒で参加していきたいと考えておりますので、その際にはご協力をよろし

新生徒会長

松 本 理 沙

くお願い致します。具体的には、「赤い羽根募金」や、「とちぎ・モンゴル文庫への協力」を考えています。

また同時に、生徒会内でも話し合いの場をできるだけ多く設け、立会演説会でも取り上げられた「Eメールでの意見交換」などを実現に向けて検討していきたいと思っております。学校生活で感じたことを気軽にEメールでお寄せいただき、集めた意見を定期的にプリントにまとめ、各クラスに配布すれば、皆さま主体のより身近で活性化した生徒会になるのではないかと思われるからです。

最後になりましたが、生徒会長に就任して、正直なところ、これまで以上のプレッシャーを感じておりますが、皆さま一人一人のご期待に応えられますよう、精一杯頑張りたいと思っております。

そして、先輩方が残してくださった遺産をしっかり受け継ぎ、さらに活発な、笑顔あふれる生徒会を目指したいと思いますので、ぜひご協力下さい。

また、顧問の先生方、今後ともどうか温かい御指導をよろしくお願い致します。

学園告知板

「辰巳琢郎が選ぶお菓子のコンクール」の入賞作品が、東京全日空ホテルで、昨年のGW中に商品化!

昨年の三月二十四日(金)東京赤坂の全日空ホテルで開催された「辰巳琢郎が選ぶお菓子のコンクール」(主催・貝印株式会社)本選におきまして、本校調理科三年の清水香織さん(茨城県古河市立総和中学校出身)の作品が、みごと貝印賞と東京全日空ホテル賞のダブル受賞という栄冠を獲得することができました。これは、一〇〇〇通もの応募作品による厳正なる一次審査の結果、本選出場者がホテルで実際に作品を作り、そのパティシエとしての腕前を競い合うというもので。清水さんのオリジナル・スウィーツ「そば粉とお茶のマーブルケーキ」は、昨年のゴールデンウィーク中の期間限定で、東京全日

空ホテルで商品化されました。

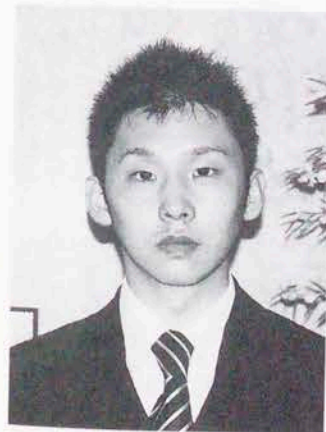
生活教養科の二年生が、宇都宮共和大学の那須キャンパスでサマーキャンプ!

夏休みに入って間もない昨年の七月二十六日(水)から二十八日(金)までの二泊三日の日程で、本校の系列校である宇都宮共和大学の那須キャンパスを会場にサマーキャンプが行われ、生活教養科一年生約一〇〇名が楽しい野外学習を体験しました。

これは、集団生活における規則正しい生活を体験することにより、チームワークの大切さを学んだり、リーダーシップのとれる資質を自ら育成したりすること、また、仲間作りの方法や社会のルールを学び、キャンプ体験を通して感動する心や達成感を味わうこと

で、自ら考え自ら解決する「生きる力」を養成することなどを大きな目標として毎年行われているものです。キャンプサイトの設営や野外調理実習、レクリエーションスポーツ(スボンジバレーボール・ロープジャンピング・すいか割りなど)やキャンプビンゲ・ヤー、クラフト授業(竹の葉着づくり)のほか、ステンドグラス美術館やジュエリー博物館、青木別邸(道の駅)の見学など、盛りだくさんの内容で、有意義な高原のひとときを過ごすことができました。

本校調理科の卒業生が、カナダ・バンクーバーの「味の外交官」公邸料理人に!



▲バンクーバーにある日本総領事館の公邸料理人(料理長)に選出された岡本 純さん(岩舟町立岩舟中学校出身)

ニュージージーランド・マヌカウ市のセント・ケンティンガンカレッジから学生訪問団が来校!



▲新2号館4Fの家庭科特別教室で、「着付け教室」の体験授業のあと記念撮影

南半球のニュージージーランドではこれから初夏を迎える季節にあたる昨年の九月二十二日(金)から二十九日(金)までの一週間にわたり、マヌカウ市はセント・ケンティンガンカレッジからの高校生十五名(引率の先生方は五名)が宇都宮市内の高校生宅へホームステイを行い、新たな両国の交友関係がスタートしました。これは、姉妹都市交流事業の一環として、宇都宮市国際交流協会の主催で、宇都宮市の姉妹都市であるニュージージーランド・マヌカウ市からお迎えしたのですが、今回の日程中で高等学校への訪問は唯一、また本校の訪問も初めてとなる学生訪問団の皆さま!生活教養科の被服デザイン科の授業や、茶道・着付け教室の体験など、高校の実際の日常生活を実体験いただきましたが、日程後半では、世界文化遺産・日光や東京デイズニールランド、ツインリンクもてぎ、焼き物のまち・益子、そして東京都内、京都、広島・宮島、大阪方面への観光旅行も行われ、さわやかな初秋の日本で、楽しく有意義な思い出をたくさんつくっていただけたようです。



平成十五年の三月に本校調理科を卒業し、その後三年半にわたり東京・浅草にある「レストラン大宮」の大宮勝雄オーナーシェフのもとで洋食全般について修業を重ねてきた岡本純さん(岩舟町立岩舟中学校出身)が、昨秋カナダの空の玄関であるバンクーバーにある日本総領事館の公邸料理人(料理長)に選出されました。「公館長の大切なパートナー」とも「味の外交官」とも形容される公邸料理人は、毎日の食膳管理のほか、連日催される世界のVIPをお迎えしての公式パーティーのメニュー作りや各種食材の仕入れからサーブまで、レセプションのすべてをコーディネートします。

将来は、ぜひ故郷の栃木県で洋食レストランを経営したいという岡本さんは、弱冠二十二歳!二〇一〇年にカナダで開催される冬季オリンピックでは、多くの政府要人のご接待にあたることにもなりそうです。岡本さんの活躍に、どうぞご期待ください。

**宇都宮共和大学宇都宮シテイキャンパスが
第十八回栃木県「工建築・景観賞」を受賞!**

本校の系列校である宇都宮共和大学の宇都宮シテイキャンパス(JR宇都宮駅から大通り徒歩七分)が、第十八回栃木県マロニエ建築・景観賞「人にやさしい建築物」部門の受賞作品に決定!昨年十一月十八日土と十九日の二日間、福田屋ショッピングプラザ宇都宮店で受賞作品のパネル展示が行われたほか、同十一月二十二日水午後一時三十分からは、栃木県総合文化センターサブホールで表彰を受けました。

これは、栃木県が「美しい景観づくり」の促進に資するため、都市景観の形成、歴史・文化の創造及び建築水準の向上等に寄与するものと認められる建築物ならびに良好な景観に対して顕彰する事業で、本学では、平成十一年度の那須キャンパスの「景観部門」受賞に続く連続受賞となりました。

宇都宮シテイキャンパスの「人にやさしい建築物」の表彰理由として、宇都宮の駅前大通りに面し、軽快で端正なファサードを見せていること。通りに面した一階を歩道に連続するピロティとし、内部のホールを大きくと

るとともに、二階分の大きなガラス面で内外を連続させたことが、市民が気軽に建物に立ち寄れる開放性を生んでいること。建物を抜けた北側の学生広場は学生・市民のイベントに使用され、二階以上も、吹き抜けとガラス等の間仕切りが透明感のある空間をつくり出し、同一階、上

下階での視線の交叉が活気あるキャンパス生活を演出していること。学生と市民の交流の場を内外に多様に設け、中心市街地の活性化をめざすこの作品が、大学施設の新しいあり方を示唆するものとして評価できること、などが挙げられています。ぜひ、皆さまも、一度足を運んでみて下さい。



**生活教養科三年生が
「とちぎフレッシュメイト」の冬服デザイン!**



本校生活教養科が、平成十八年度「とちぎフレッシュメイト」の冬服デザイン・製作を担当し、昨年十月二十八日(土)午後三時三十分からマロニエプラザで開催された「ふるさととちぎフェア2006」のステージで、制作発表を行いました。これは、本校のファッションデザイン発表の成果から、とちぎ農産物マーケティング協会(県農務部所管)より製作依頼を受けて行われたもので、今回で連続四年目の製作! 本県農産物のブランドイメージにふさわしい「気品とみずみずしさ」を表現したデザインが、校内応募二〇〇点の中から選考されました。

また、フレッシュメイトの一人である小森美郷さん(写真・右)は、本校普通科・応用文理コースの第一期卒業生で、現在は宇都宮人間福祉学科・社会福祉専攻二年に在学中。これからも、全国各地で開かれるイベントやキャンペーンなどで、「とちぎブランド農産物」のイメージアップと効果的な普及に協力してまいります。栃木の特産品いちご「とちおとめ」をイメージした衣装と小森さんの活躍に、どうぞご期待ください!

**「ぎの」山菜料理コンクール」で
最優秀賞!**

昨年の十月二十三日(月)にテブコ・ラ・フォンテで行われた「第十九回ぎの」山菜料理コンクール(栃木県・栃木県特産林産協会・主催)本審査の一般の部(高校生以上)におきまして、調理科三年の矢口あすかさん(宇都宮市立豊郷中学校出身)が「みそ風味きのことクルミのカップケーキ」で最優秀賞(栃木県知事賞)を受賞! この

**「創作料理発表会」で、
生活教養科三年生が優秀賞に!**

昨年の十二月一日(金)午前十時から宇都宮市総合コミュニティセンターで行われた平成十八年度「創作料理発表会」(昨年度までの「国産食肉コンクール」通称「ファミリーミートクッキングコンテスト」から改称)栃木県大会(栃木県食肉事業協同組合連合会・主催)で、生活教養科一年の中村桃子さん

三月に東京で開催される全国大会への出場権を獲得しました。また、一般の部の優秀賞には調理科二年の小瀬沢梨絵さん(那珂川町立小川中学校出身)が「サクッワッきのことエビの卵包み」で入賞、さらにジュニアの部(中学生以下)では、宇都宮大附属中一年の菊池采礼さん(宇都宮市立平石北小学校出身)が「干しいたけのワンタンスープ」で優秀賞(栃木県農務部長賞)を受賞しました。食育のこと山菜を使った新しいアイデアメニューに、ぜひご注目を!

(宇都宮市立豊郷中学校出身)が、みごと第二位・優秀賞の栄冠を獲得することができました。

中村さんの入賞作品は、ゴマやじゃこ、カリカリ梅の入ったすし飯の上に牛カルビと豚肉を乗せ、さらに卵黄を盛り付けた、とてもおいしく、かわいらしい一品の「欲張り丼」です。しかも、一人当たりの食材費が、なんと五〇〇円以下で栄養満点というウレシサ！新鮮で安全な国産食肉を使った新しい感覚のアイデア料理に、皆さまもぜひ挑戦してみてくださいいかがですか？

県の高校書道展で優秀賞を受賞、 全国大会へ！

昨年の十二月八日(金)から十一日(月)まで、栃木県総合文化センター第2・第3ギヤラリーで行われた第三十回記念栃木県高等学校書道展(栃木県高等学校文化連盟書道部会：主催)において、普通科医歯薬特進コース一年の山形詩織さん(日光市立落合中学校出身)がみごと優秀賞を受賞！来年

度、島根県で開催される全国高等学校総合文化祭島根大会に本県代表として参加することになりました。

銀河会渡邊書道教室に所属して毎日の練習に励む山形さんの今回の受賞作品は、大作・趙子昂「真草千字文」の臨書です。今後ますますのご活躍に、皆さまのご声援をお願いいたします。

KOBE国際音コンで、音楽科三年生が 優秀賞(方ラコン推薦)を受賞！

阪神・淡路大震災十二周年記念事業の一環として、兵庫県神戸市の神戸文化ホールと神戸市産業振興センターホールを会場に、今年一月六日(土)から八日(月)の日程で開催された第十二回KOBE国際学生音楽コンクール(主催：KOBE国際学生音楽コンクール実行委員会)のA部門(小・中・高校生)・管楽器部門において、音楽科二年の柿沼麻美さん(フアゴット専攻・矢板市立矢板中学校出身)が、みごと優秀賞を受賞！三月十八日(日)に神戸市立産業振興センターホールで開催



▲ 3号館2Fのレッスン室Dにて

される「第十二回KOBE国際学生音楽コンクール」入賞者によるガラ・コンサート」出演のご推薦をいただくことができました。

指導教官は、本校音楽科の卒業生で、現在東京フィルハーモニー交響楽団でご活躍中の吉澤慎一先生です。毎日、フアゴットの熱心なレッスンを重ねる柿沼さんの今後のステージに、どうぞご注目ください。

教育実習生、 母校の教壇に

英語科

～教育実習を終えて～

日本女子大学
松本 奈津子

これから始まる三週間の教育実習をはたして無事終えることができるのかと、不安な気持ちで迎えた実習第一日目でした。しかし、始まってみると一時間、一日、一週間が本当に速く過ぎていくことに驚かされました。

ホームルームのクラスは一学年。入学し約三ヶ月しか経っていません。やっと学校生活やクラスの雰囲気馴染んできた頃です。友達も徐々に部

分があると思います。自分が順応するので手いっぱいという時期に実習生を迎えることによって、生徒たちに不安や違和感を与えないだろうかと非常に心配でした。それは授業においても同様です。指導教官の熊倉先生の英語を約二週間引き継ぐこと、期末試験も近いことを考えると、決して手を抜くことはできないと焦る反面、気持ち引き締まりました。生徒たちはまだ消極的な面があるにしても、個別に話してみると皆とても元気で、明るい生徒たちばかりでした。一週間が終わるころには「先生」と話しかけてくれる生徒も慣れていないということ以上に、「先生」としての責任も感じました。

授業については、英語科の先生方には毎日参観させていただきました。二週目から始まる実習授業に向けて、学ぶべきところを大いに吸収することができたと思います。一人一人の先生の授業は一通りでなく、進め方や板書の仕方は勿論のこと、生徒たちをいかに授業に集中させるかというものの難しさも学びました。そして、生徒の授業

への意欲・態度の現実を窺うことができたと思います。

実習期間の後半になると、いよいよ自分の授業が始まり、指導案作成や実習授業の反省に追われました。しかし先生方の励みやアドバイスを頂きながら、一つ一つクリアしていくことができました。授業構成や内容については、熊倉先生の御指導の下でのびのびと授業を行うことができたこと、大変感謝しております。普通科進学コースの一年九組と普通科中高一貫特進コースの二年一組を主に担当しましたが、どちらも一つのレッスンを丸々与えて頂きました。しかしどちらも本文を全て終えることができなかったことが、大きな反省点です。一時間で進む量、それにかかる時間など、もう少し留意して取り組めば変わっていたのだろうか

と悔しい気持ちでいっぱいです。そして、二週間の実習授業を重ね、その成果を発揮する研究授業では、多くの先生方に助言をしていただきました。予定通りでない箇所もありましたが、無事一時間を終えることができました。説明の仕方に戸惑った

◆ ◆ 校 史 と 校 章 ◆ ◆

平成18年は、ミレニアム(新1000年紀)21世紀の6年目にあたります。須賀学園は、昨年11月3日で創立106周年の記念日を迎えましたが、平成11年4月に全国初の都市経済学部をもつ大学として開学後8年目を迎えた那須大学が、昨年4月からは宇都宮共和大学シティライフ学部と校名・学部名を改称して新スタート。また平成14年4月に新設された普通科・応用文理コースも5年目を迎えることができました。さらに、昨年の10月には、宇短大の開学40周年を記念したドーム型多目的アリーナ(体育館)が完成し、グラウンドオープンして2年目となる教育会館・第2グラウンドとともに、本学園の教育環境の拡充がはかられました。

思えば、本学園は明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校と改名されました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代目現校長の須賀淳先生です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、那須大学開学、短大の学科増設、教育会館および第2グラウンド新設と、ますます学園を発展させ現在に至っています。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉の意味は、本校生徒一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育」の精神が、100余年かわらずに脈々と生きついでいます。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」を3個組み合わせる図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、いわば目印のようなもので、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その腕につけさせ、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜から第2代目校長須賀友正先生が校章と定めたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清純な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。